

平成22年度 シラバス  国語 (Japanese )	学年・期間・区分	2年次・通年・A群
	対象学科・専攻	機械、電気電子、電子制御、情報、土木工学科
	担当教員	田中 智樹 (Motoki,Tanaka)
	教員室	図書館2階(内線 9040)
	E-Mail	m-tanaka@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義 / 履修単位 / 2単位	
週あたりの学習時間と回数	授業(100分)×30回	
〔本科目の目標〕 近現代の様々な文章および古典を読む能力を高めるとともに、ものの見方、考え方を深め、進んで表現する態度を育てる。		
〔本科目の位置付け〕 現代文を中心に古文、漢文の各領域において、作者の意図するところを正しくくみ取り、より深い作品理解を目指す。一年次の内容を発展的に習熟させ、総合的な国語力の向上を図る。		
〔学習上の留意点〕 教材の中の様々な問題について自分の意見を持ち、的確に表現できるようにする。常用漢字、重要語句を確実に修得する。また、授業に積極的にに関わり、教師からの質問にも進んで答えるよう心がける。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
【現代文】 1. 評論 「場所と経験」	5	・漢字・語句を正しく読み書きし、またその意味が理解できる。 ・段落ごとに筆者の論旨の展開を追うことで、筆者の意見を理解できる。
2. 小説 「山月記」	8	・漢字・語句を正しく読み書きし、その意味が理解できる。 ・李徴が虎に変身するまでのプロセスを正確に把握する。 ・袁慆に訴える悩みの内容が、語るにつれてどのように変化していくかを理解し、それに対する袁慆の感想を対置させながら、李徴が真実に気づいていく過程を整理する。
--- 前期中間試験 ---	2	授業項目1, 2について達成度を確認する。
3. 評論 「共生システム」	6	・語句の意味・用法を理解し、漢字を正しく読み書きできる。 ・「共生」ということばを中心に、筆者の論理展開を理解することができる。
4. 詩歌(詩) 「永訣の朝」	6	・作者についての正しい知識を前提に、作品の成立した背景を十分に理解し、文学史上の位置づけを知ることができる。 ・妹への深い愛情とその死が歌われていることを理解し、詩人の深い思いを読み取ることができる。 ・詩に用いられている方言の効果を考え、詩の世界を味わうことができる。
5. 詩歌(短歌) 「短歌」	3	・和歌特有の表現・修辞を正しく理解し、作者の意図(主題)を理解することができる。 ・詩人の発想やそこに込められた思いを踏まえ、詩の世界を味わい、その表現性を十分に楽しむことができる。
--- 前期期末試験 ---		授業項目3～5について達成度を確認する。
【古文】 6. 随筆 枕草子 「春はあけぼの」	7	・枕草子の作品及び作者の文学史上の価値・位置づけが理解できる。 ・古語の意味及び、古文特有の表現を理解できる。 ・基本的な文法事項だけでなく、敬語の使い方が理解できる。
7. 日記文学 更級日記 「あこがれ」	7	・日記文学の重要性をふまえ、作品の価値を文学史上に位置付けできる。 ・基本的な文法事項及び修辞法を理解することができる。 ・内容を正しくとらえ、作者の心情を正確に理解することができる。 ・作品をとらえて、当時の人々の生活・文化・風習を理解することができる。
--- 後期中間試験 ---	2	授業項目6, 7について達成度を確認する。
8. 物語 竹取物語 「かぐや姫の昇天」	7	・文学史における作り物語の位置づけ・価値を理解する。 ・古語及び、助動詞の用法等に注意して、全文の意味を理解する。 ・作品をとらえて、当時の人々の生活・文化・風習を理解することができる。
【漢文】 9. 故事・史伝	7	・漢文の訓読法を確実に理解し、故事に語られた内容を正確に理解できる。 ・史伝に表れた人物の描写に注意して、内容を理解できる。
--- 後期期末試験 ---		授業項目8, 9について達成度を確認する。
試験答案の返却・解説		各試験において間違った部分を理解出来る。
〔教科書〕精選現代文 筑摩書房、 高等学校古典(古文編) 三省堂 〔参考書・補助教材〕精選現代文 課題ノート 筑摩書房、 高等学校古典(古文編) 課題ノート 三省堂 図説国語 東京書籍、 各種辞書		
〔成績評価の基準〕中間試験および期末試験成績(80%) + 提出物・小テスト等の平常点(20%) - 授業態度(最大20%)		
〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕 1-a, 2-a		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕		
〔JABEEとの関連〕		

